



「みちのくGOLD浪漫-黄金の国ジパング、産金はじめりの地をたどる-」 「日本遺産」に認定が決定しました

宮城県涌谷町・気仙沼市・南三陸町・岩手県陸前高田市・平泉町の2市3町で、「日本遺産」に申請していた「みちのくGOLD浪漫-黄金の国ジパング、産金はじめりの地をたどる-」が、令和元年度「日本遺産（Japan Heritage）」に認定されることが決定しました。

- 正式な認定発表は、5月20日（月）、東京国立博物館で開催される「日本遺産認定証交付式」で行われる予定です。

1 ストーリーのタイトル

みちのくGOLD浪漫-黄金の国ジパング、産金はじめりの地をたどる-

2 申請団体

宮城県（気仙沼市・◎涌谷町・南三陸町）、岩手県（陸前高田市・平泉町）

※◎印は代表自治体

3 日本遺産認定発表及び認定証交付式

日時 5月20日（月）11時から

場所 東京国立博物館 平成館 大講堂（東京都台東区上野公園13-9）

4 報道規制について

（1）文化庁から下記のとおり報道規制が示されておりますので、御理解のうえ御配慮をお願いします。

・報道規制解除 テレビ・ラジオ：5月20日（月）認定証交付式後（正午以降）

新聞：5月20日（月）夕刊から解禁

（2）問い合わせ先

涌谷町教育委員会生涯学習課文化財保護班（天平ろまん館内）

電話 0229-43-2101 担当：福山・二瓶

※現地取材にかかる問い合わせ先

気仙沼市教育委員会教育部生涯学習課文化振興係

電話 0226-22-3442 担当：幡野・鈴木

◆今回認定される日本遺産の概要

(ストーリーのタイトル)

みちのくGOLD^{ろまん おうごん}浪漫-黄金の国ジパング、産金はじめりの地をたどる-

宮城県（気仙沼市・南三陸町・◎涌谷

町）

岩手県（陸前高田市・平泉町）

(ストーリーの概要)

日本で初めて“金”が産出されたのは奈良時代の陸奥国^{むつのごく}。現在の岩手県や宮城県を含み「みちのく」とも呼ばれるこの地が生んだ“金”は富の象徴のみならず、奈良・東大寺の大仏や平泉・中尊寺金色堂を彩り、祈りの対象として人々の心に光を灯し続けてきました。

私たちは、時代とともに幾重にも結び付き、独自の文化や信仰、産業へと昇華した“金”と人々の縁^{えにし}を“みちのくGOLD”と名付け、価値や魅力の掘り起こしを始めました。日々の生活や風土に溶け込んだ“みちのくGOLD”との出会いは、悠久の時を経ても色褪せることのない浪漫に満ち溢れています。



黄金の国ジパングの礎となった砂金（涌谷町天平ろまん館）



田東山山頂から三陸を望む（宮城県南三陸町）



大谷鉱山巨大洗練所跡（宮城県気仙沼市）



みちのくの金を支えた金鉱石（気仙沼市大谷鉱山資料館）



金と水晶の山「氷上山」（岩手県陸前高田市）



受け継がれる金工芸技術「秀衡塗」

※写真は、主な構成文化財

◆日本遺産（Japan Heritage）の概要

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産（Japan Heritage）」として認定するとともに、ストーリーを語るうえで不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図るものです。

宮城県内での日本遺産の認定は、平成28年4月に認定された「政宗が育んだ“伊達”な文化」（宮城県・仙台市・塩竈市・多賀城市・松島町）以来で、今回の認定で県内の日本遺産は2件となります。

<参考>

文化庁ホームページ「日本遺産」 http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/nihon_isan/